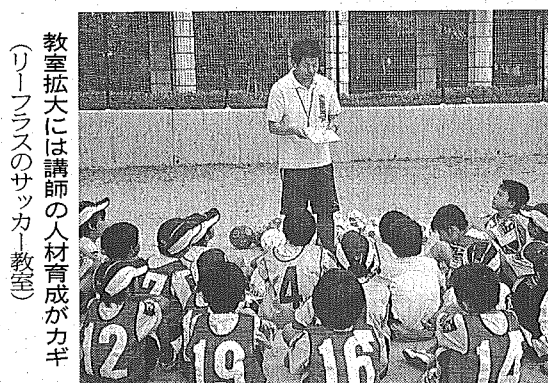
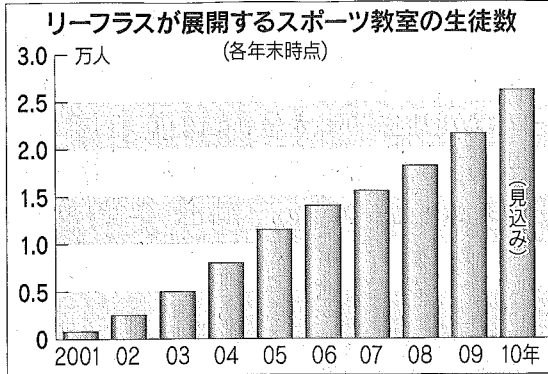


スポーツ指導者向け学校

来春 年100人養成、原則社員に

全国でサッカーや野球などの小学生向けスポーツ教室を展開するリーフラス(福岡市、伊藤清隆社長)は2011年4月、教室の指導者を養成する専門学校を開校する。高校・大学卒業者を集めて年間100人を卒業させ、原則として社員に採用する。同社は3年後の拠点数を2300教室と現在のほぼ2倍に増やす計画で、技術指導や教室運営で即戦力となる人材を目前で育てるのが狙い。



このほど、福岡市早良区で専門学校を運営する学校法人の経営権を事実的に取得した。現在、大学卒業予定者と既卒者を対象に1期生60人を募集している。12年度以降は高校卒業予定者も対象に加え、毎年100人の生徒を集める。学費は年間約100万円。

カリキュラムは2年制。授業は教室運営などのスポーツマネジメントが中心で、主要スポーツ

の技術や経営学、マーケティング、ビジネスマナーなども教える。子供に接するため「赤十字救急法救急員」の資格を取得させるほか、心理学や栄養学などの専門知識も身につけさせる。卒業生は優先的にリーフラスの正社員としてスポーツ教室の講師に採用する。

同社は現在、東京、札幌、神戸、福岡など全国17都市でサッカーや野球などのスポーツ教室を約1200教室展開しており、10年4月期の売上高は前年同月比23・1%減の63件と2カ月連続で前

は23億円。3年後には2300教室に拡大する計画。今年10月に中国・上海に進出し、来年以降は香港やソウルにも進出する方針だ。講師には大学でスポーツ科学を専攻した学生らを中心に毎年30人程度を採用しているが、教室網拡大には講師の増員が不可欠となっている。

九州7県や自動車メーカーなどでつくる「九州自動車・二輪車産業振興会議」は9日、トヨタ自動車九州の本社(福岡県宮若市)で部品メーカーが新規技術や加工法を紹介する展示会を開く。同社内での展示会開催は初めて。コスト低減や品質強化につながる技術を売り込み、取引拡大を目指す。

トヨタ九州へ技術披露 九州の自動車振興団体 地場企業の展示会

トヨタ九州が本社内のスペースを提供し、九州と山口県の34社がそれぞれ展示ブースを設置。金属プレスや樹脂加工、塗装などの技術や工法をアピールする。トヨタ九州は地場調達の引き上げを目指しており、各社は受注拡大につなげた考え。

「伊佐錦」などのブランドをPRするイベントを催すほか、販路拡大のための商談会を開く。同県によると、自治体が口蹄疫の復興対策で基金を設置するのは宮崎県に続いて2例目。

西日本シティ銀 保険の専門窓口

来月まず2店舗 扱い商品大幅拡大

西日本シティ銀行は7日、店舗内に保険商品販売の専門窓口を開設すると発表した。来月1月14

末年始やゴールデンウィークを除き、土日や祝日も営業する。最初の3カ月で2店舗で計1200人の契約を目指す。

西日本シティ銀が窓口で扱う保険商品は、個人年金保険や一時払い終身保険など貯蓄性の高い商品が中心。専門窓口ではこのほか、毎月定額の保険料を支払う平準払い終身保険や、顧客がけがなどで働けない状態になっ

鹿児島県、安全PRなど 農家支援、102億円基金

鹿児島県は7日、宮崎の口蹄疫(こういついえき)で発生した家畜伝染病で影響を受けた鹿児島県

の畜産業者を支援するため、来年初めから5年間、102億円の基金を設ける方針を発表した。年間4千万円を見込む運用益などで、安全性

専門窓口は「NCBほけんプラザ」。保険代理店「けんプラザ」。保険代理店大手のライフプラザホールディングス(東京)で2店舗で計1200人の契約を目指す。

西日本シティ銀が窓口で扱う保険商品は、個人年金保険や一時払い終身保険など貯蓄性の高い商品が中心。専門窓口ではこのほか、毎月定額の保険料を支払う平準払い終身保険や、顧客がけがなどで働けない状態になっ

日商保険